

# 第 10 回 関西陸上競技同好会選手権 記念大会

日時 平成 27 年 6 月 21 日(日)



場所 服部運動公園陸上競技場

開門 8 時 00 分

受付開始 8 時 30 分

# 大会競技時間

競技時間	種目	組数	人数 & チーム
9:00	開会式		
9:30	男子 3000m タイムレース決勝	3	50
	女子 3000m 決勝		3
	女子 走幅跳 決勝	1	3
	男子 走幅跳 決勝		15
10:00	男子 砲丸投 決勝	1	2
	女子 砲丸投 決勝		8
10:35	男子 100m 予選(0+8)	13	101
11:15	男子 800m タイムレース決勝	5	40
	女子 800m 決勝	1	5
11:35	男子 2種ジャベリックスロー 決勝	1	8
12:15	男子 110mH(高) 決勝	1	6
	女子 100mH(高) 決勝		1
12:25	女子 走高跳 決勝	1	2
	男子 走高跳 決勝		10
12:30	男子 400m タイムレース決勝	4	25
	女子 400m 決勝	1	4
12:55	女子 円盤投 決勝	1	4
	男子 円盤投 決勝		5
13:00	男子 1500m タイムレース決勝	4	72
	男子 2種 1500m 決勝		2
	女子 1500m 決勝	1	8
13:30	男子 三段跳 決勝	1	4
13:55	女子 100m 決勝	1	4
	男子 100m 決勝	1	8
	男子 2種 100m 決勝	1	6
14:15	女子 4×100mR 決勝	4	7
	男子 4×100mR タイムレース決勝	1	25
14:35	女子 4×400mR 決勝	4	3
	男子 4×400mR タイムレース決勝	1	28

15:30	全員リレー		
16:20	閉会式 & 記念撮影		
17:00	退出		
19:00	打ち上げ		

## 競技注意事項

### 1, 競技規則について

本競技会は 2015 年度「(財)日本陸上競技連盟」競技規則および本大会規定により運営する。

### 2, フィールド種目（走高跳を除く）は、全て 3 回の試技とする。

### 3, 招集について

- (1) 選手は出場種目の招集完了時刻には、必ず招集場所にいること。
- (2) 出発係の指示に従い、ナンバーカード等の点検を受けること。
- (3) 代理人は認めないが、他のトラック、フィールドの関係で間に合わない選手は代理人をもって招集に応じ、代理人はその旨を出発係に申し出ること。
- (4) 招集完了時刻に遅れた場合は棄権とみなして取り扱う。
- (5) 招集時刻は以下の通りとする。

	完了時刻
全種目	10 分前

### (6) 選手の招集は以下の通りとする。

	招集場所
トラック種目	各競技のスタート位置
フィールド種目	各競技の行われる場所 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">走幅跳、三段跳 : ホームストレート前</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">}</div> <div style="margin-right: 10px;">走高跳、砲丸投 : 第 2 曲走路内側</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">}</div> <div>ジャベリックスロー : 第 1 曲走路内側</div> </div>
リレー種目	各走者のスタート位置

### 4, ナンバーカードは各自、自分のナンバーカードをユニホームの前後の 2 か所に取り付ける。ただし、跳躍競技に出場の選手は胸部のみに取り付けることを許可する。

### 5, トラックのレース順、フィールド競技の試技順はプログラム記載通りとする。

### 6, 使用器具は原則として競技場備え付けの物を使用すること。

### 7, ウォーミングアップや練習は、原則として競技場外で行うこと。しかし、競技の邪魔にならない場所で、尚且つ、選手のパフォーマンスの妨げにならないようならば、ウォーミングアップを行ってもよい。なお、その際は安全上の配慮から審判員の指示に従うこと。

### 8, 男子 100m は予選レース、及び決勝レース(ベスト 8)を実施し、その選考方法はタイム順で全組上位 8 名の選手を決勝進出者とする方法を取る。

9, 110mH(高)/100mH・3000m・4×400mR は、男女同時スタートとする。

しかし、総合順位は女子、男子別で扱う。

10, 走高跳について

(1) 走高跳の練習及び最初の高さは、参加競技者の競技力から審判長が決定する。

(2) バーの上げ方は原則として 5cm単位とする。

11, 競技結果は掲示板に競技終了後に掲示し、関西陸上競技同好会連盟の Twitter アカウントでも結果速報を発信する。また、後日結果一覧を送付する。

12, 参加団体は試合当日の朝に本部にて競技者受付を完了すること。

13, 全体リレーのみの出場者は、ゼッケンを配布しないので注意すること。

14, 競技開催中の疾病、傷害について応急手当は実施するが、以後の処置は当該チームが行うこと。

15, 物品及び貴重品は各自で厳重に管理すること。盗難や紛失について主催者は一切責任を負わない。

16, 競技者としてのマナーを守り、競技役員や施設管理者からの指示には従うこと。

17, 競技運営やその他の事項に不明なことが生じた場合は、大会本部に申し出ること。

18, 開会式を 9 時より行うので、参加できるものは本部前に集合すること。

19, 団体対抗戦は各種目 1 位～8 位の上位入賞者に 8 点…1 点の得点を付与、その合計点をもとに順位決定を行う。

ゼッケンは閉会式終了後、団体ごとにまとめて返却すること。

ごみは用意してあるゴミ袋に捨てるか、持ち帰ること！！競技場に残さない！！！！

※ 17 時 00 分退場。時間厳守。

何か不明な点があれば、大会本部に申し出てください。

# ご挨拶

第10回関同陸上競技同好会選手権記念大会  
実行委員長 五十嵐 大輔

第10回関同陸上競技同好会選手権記念大会が、12大学14団体から375人のランナーの皆様をお迎えし、また25名の補助員の方々のご協力を賜り、盛大に開催できますことに心からお礼を申し上げますとともに、歓迎申し上げます。

本大会は、今年で10年目を迎え、RAC(立命館大学陸上競技同好会)の発展とともにこれまで歴史が築き上げられて参りました。これも、ひとえに関西の陸上同好会の皆様のご支援、ご協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

「走る」ということは、スポーツ全般の基礎であると同時に、いつでも、どこでもできる非常に身近なもので、健康維持・増進に最適な生涯スポーツです。本大会に参加される選手の皆様におかれましては、日ごろの練習の成果を十分に発揮し、自己ベストを目指して頑張ってくださいよう心より祈念いたします。

また、走ることを通じて他団体の交流を深め、今後の関西陸上同好会界の発展に繋がるような大会になれば幸いです。

結びにあたりまして、本大会の開催に尽力いただきました関係各位に心からお礼を申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

## 「第10回関西陸上競技同好会選手権記念大会」ご協力のお願い

2015年5月24日

(日)第2回関西陸上競技同好会連  
盟会議

RAC12期会長 五十嵐 大輔

### 1. 大会の位置付け

◎第15回、第20回大会に向けて様々な可能性を残すために「挑戦」する第10回大会

→今回、資金面や体制面等の理由から電動導入や万博開催には至りませんでした。しかし、近年の規模の拡大や関西サークル陸上のレベルの向上から、近い将来「関同選」を大きく変えることが必要となってきました。そのために何が必要か、どんな方向を目指すべきかは次世代実際に運営を担う世代が決めていくことですが、決める際の選択肢の幅を増やすことは今、私達の世代に求められています。今大会を次の5年、10年へのステップと位置付け、過去10年の総結集とするとともに未来を見据えて様々な「挑戦」を行う記念大会にすることを提案します。

## 2. 第10回記念大会での新たな取り組み(案)

- ◎ゲストランナーの招致→関同選の話題性(サークル内外問わず)と市民ランナー交流
- ◎新種目「円盤投」の実施→サークル陸上での可能性の提示
- ◎OB,OGの方々へのご協力をお願い→10年の集大成という位置付けで
- ◎運営体制の見直し→立命館主導型から連盟協調型へのシフト
- ◎団体対抗戦の正式実施→他大交流・切磋琢磨による相互作用
- ◎広報活動の充実→選手のためはもちろん、サークル陸上の認知度向上を意識した大会に
- ◎運営費用補助金の応募→関同選を広く大学生の活動として認めてもらう
- ◎競技実施案の工夫→様々なレベルの選手がもっと楽しめる大会へ

## 3. 未来の関同選

大きく分けて2案。

### ①「全国陸上競技同好会選手権大会」の開催に向けた整備

→関東陸上競技同好会連盟との協力が必要。そのためには関西陸上競技同好会連盟の体制充実、規模拡大、そして代名詞となる大会「関同選」の変革は急務。関同選を電動導入、競技場変更、資格審判員増大等による運営体制など、正式な陸上競技会に近づけていかなければならない。そのためには関西の陸上競技同好会同士との密な連携、資金工面(OB,OGの方々、補助金等)、意識の向上等に努めていく必要がある。

### ②もっと“サークルらしい”陸上競技大会に向けた整備

→現在、それぞれのサークルが様々な目標を持って活動している。競技だけでなく、ジョグ、健康維持としてのランニング、陸上を超えたイベント等走ることを基盤に様々な活動を模索していけるのが陸上サークルの醍醐味。各大学の陸上競技部との比較から考えると費用や練習ペース、文武両道、目的意識等他にも多くのメリットが陸上サークルには内在しており、その何かに惹かれて皆活動している。以上から競技の充実だけに特化せず、よりサークルらしさを追求した陸上競技大会を模索していく目線が必要。

## 4. 第10回記念大会へのご協力をお願い

→①にも②にも関西の陸上サークル全体での運営充実は必要。基盤を作り、未来に繋げていくために今大会様々な面でのご協力をよろしくお願いします。

# ゲストランナー 和田伸也さん ご紹介



【生年月日】1977年7月9日（37歳）

【出身地】大阪府

【視覚障害の状況】

網膜色素変性症により、高校2年生ごろから徐々に日常生活に支障が出てきた。大学3年生ごろには視力がゼロとなった。現在、光覚。

【学歴・職歴】

大阪府立生野高等学校出身。関西大学大学院社会学研究課博士前期課程を2002年3月に修了し、その後、専門学

校での非常勤講師（点字）や、大阪市内の障害者自立生活センターでピアカウンセラーとしての勤務を経て、2004年12月、一般財団法人大阪府視覚障害者福祉協会に就職、2005年1月に点字図書館に配属。点字製作担当。

【走り始めた時期ときっかけ】

2006年3月、知人の紹介で賀茂川パートナーズの練習会に参加。運動不足解消が当初の目的。中・高校とラグビー部に所属していたが、10年以上スポーツはしていなかった。

【フルマラソンなどレース出場について】

2007年11月の福知山マラソンで初フル、3時間7分25秒。以降、マラソンは12回完走。2014年の防府読売マラソンでは、2時間35分39秒をマークし、T11（全盲クラス）の日本記録を更新。

800m、1500m、5000m、10000mのトラック種目でも日本記録を保持している。

【日本盲人マラソン協会の強化指定選手となって】

2008年11月の福知山マラソン（2度目のマラソン）で、2時間56分53秒でフィニッシュし、サブスリーを達成したことで、2009年度から日本盲人マラソン協会の強化指定選手となった。強化選手の方々からも刺激を受け、競技としてもマラソンに取り組むようになり、パラリンピックを目指すようになった。これまでに5度、国際大会を経験している。

【トレーニングの状況】

走り始めてからこれまで、伴走者の輪も広がり、走力も着実につき、現在ではほぼ毎日トレーニングできるようになった。距離走やインターバル走、LSDなど、トレーニング内容によって、大阪・京都の市民ランナーさんや学生の方など、毎日日程調整をして、たくさんの方々と一緒に走っていただいている。かかわっていただいている仲間は100人は超えている。練習場所は、長居公園や大阪城公園、万博記念公園、服部緑地公園、安威川・大川・賀茂川河川敷。トラックは西京極、皇子山、尼崎、関西大学グラウンドなど。月間走行距離は約500キロ。

【主な自己記録】

種目	記録	大会名
フルマラソン	2時間35分39秒 (T11日本記録)	第45回防府読売マラソン 2014年12月
ハーフマラソン	1時間14分29秒	第55回札幌国際ハーフ 2012年7月
10K	34分23秒	第38回新春枚方走ろう会 2015年1月
10000m	34分21秒89 (T11日本記録)	IPC陸上競技世界選手権 2011年1月(NZクライストチャーチ)
5000m	15分51秒94 (T11日本記録)	第2回大阪陸上競技記録会 2013年4月
1500m	4分18秒71 (T11日本記録)	ロンドンパラリンピック 2012年8月
800m	2分08秒27 (T11日本記録)	2014ジャパンパラ陸上競技選手権 2014年9月

【国際大会出場暦】

大会名	記録
広州アジアパラ競技大会 2010年12月(中国 広州市)	5000m(4位)
IPC陸上競技世界選手権 2011年1月(NZ クライストチャーチ)	10000m(4位) マラソン(銅メダル)
ロンドンパラリンピック 2012年8月~9月(英国 ロンドン)	1500m(7位) 5000m(銅メダル) マラソン (5位)
IPC陸上競技世界選手権 2013年7月(フランス リヨン)	5000m(4位) マラソン(銀メダル)
仁川アジアパラ競技大会 2014年10月(韓国 仁川広域市)	800m(金メダル) 1500m(金メダル) 5000m(金メダル)